

令和4年度 静岡大成高等学校 学校評価書

<評価基準(達成度)> A 80%以上 B 50%以上 80%未満 C 30%以上 50%未満 D 30%未満

評価対象	評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価	学校としての成果と改善点	評価	ご意見
1. 目指す教師	1. 厳しく、あたたかく、生徒と同じ位置で指導する。	①良いことと悪いことをはっきりと示す。生徒の人権を尊重し、子ども扱いをしない。力に頼った指導をしない。 ② (各自設定)	A	保護者から教員の指導方法に関する相談が2件あったが即時に対応し大きな問題にはならなかった。力に頼らない、生徒に考えさせる指導が大切であることの共通認識を持っている。	A	コロナの終息にむけ活動制限が徐々に緩和される動きの中、マスク着用を個人判断として卒業式を挙げてよかった。 生徒ごとの授業理解度について一人ひとりの進捗に合わせる事が大事だろう。 来年度は2クラスを3人の担任でもつチーム担任制がスタートするとのことで、より教員間のコミュニケーションも図れ、チームとしての意識やよい取組につながっていくと思いい、定着することを期待している。 生徒にとっても、複数の担任がいることは相性のよい先生がみつかる等と、良い面があると思う。
	2. 率先垂範を実行する。	①目指す生徒の姿を自ら実行する。正しい言葉遣いで話しをする。先頭に立って生徒を導く。生徒と一緒に汗を流す。 ② (各自設定)	A	日々の学校生活や学校行事において、教員が先頭に立ち、導いていく場面が多く見られた。今後も生徒に寄り添いながらも生徒の主体性を引き出す指導をしていきたい	A	
	3. ビジョンを持って一生懸命努力する。	①できない理由を探す前にまずやってみる。ぶれないこと、あきらめないことを意識する。 ② (各自設定)	A	コロナによる活動制限が徐々に緩和された1年であった。授業や学校生活、部活動などにおいてコロナ前の活気が戻りつつあり、非常に喜ばしいことである。	A	
	4. 私学人としての自覚と理想を持っている。	①学校の発展を共通の目的とする。私学だからこそやるべきことを考え実行する。保護者と良いリレーションを築く。 ② (各自設定)	A	オープンスクールのアンケートでは本校の施設設備が充実しているといったご意見をたくさんいただいた。ハード面だけに頼ることなく、生徒や保護者の満足度を上げていきたい。	A	
	5. チームとしての教員集団である。	①仲間の良いところを見つける。真のコミュニケーションを図る。常にポジティブな表現を使う。 ② (各自設定)	B	チームワークの形成に必要な個々の役割や責任の全うについてしっかりとできている。何か新しいことを始めようとするときに多少ネガティブな発言が聞かれたことが残念であった。	B	
2. 学習指導	生徒自らが学びを深めることのできる授業の研究と実践をおこなう。	①生徒が興味関心を持つ授業を展開する。 ②生徒が自身の学習を振り返り、次の学習に繋げることのできる機会をつくる。 ③ (各自設定)	B	与えられた課題に取り組む学習から、自ら課題を見つけ解決を図る学習への移行の1年であった。次年度も全教員の意識と指導方法の改革に取り組んでいきたい。	B	課題を自分たちで解決できるように、次年度以降も生徒の主体性をはぐくむ学びの場を創ってほしい。
3. 進路指導	自分の生き方や将来に向けて必要なことを考え、実行できる生徒を育てる。	①生徒に短期・中期・長期の進路目標を設定させる。 ②生徒の自己理解を促し、主体的に進路を決定させる。 ③ (各自設定)	B	きめ細かい進路指導をしてきたが、今持っている力で実現可能な進路目標を掲げる生徒が多い。生徒の自己理解を促すとともに、もう1つ上のランクの進路実現の後押しをしていきたい。	B	生徒が自らの将来について考え、希望する進路、また生徒によってはランクが上の進路を目指せるようなサポートができればよい。保護者の満足度にも深くかかわるため、三者が連携した指導が求められている。
4. 生徒指導	掃除の取り組みを強化し、進学・就職ともに社会の中で活躍できる人材を育てる。	①あいさつの励行や校外の美化に努め、他者を尊重する生徒を育てる。 ②生徒にとって安全・安心な学校づくりや環境づくりを実施する。 ③ (各自設定)	A	あいさつの励行は学外の方からもお褒めの言葉をいただいている。他者の尊重についても、今年度いじめ等の相談は皆無であった。自発的な掃除へ取り組みについて指導を強化したい。	A	引き続き社会のルールや規範はきちんと指導していただきたい。 いじめ等の相談がなかったことは評価したい。 他者を尊重できる生徒を育ててほしい。

令和4年度 静岡大成高等学校 学校評価書

<評価基準(達成度)> A 80%以上 B 50%以上 80%未満 C 30%以上 50%未満 D 30%未満

評価対象	評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価	学校としての成果と改善点	評価	ご意見
5. ICT 地域貢献 広報活動	1. ネット関連の自己管理ができる生徒を育てる。	①生徒・教員の情報セキュリティやネットワークエチケットに関する意識レベルを向上させる。 ② (各自設定)	B	一人1台タブレットを導入して2年目となるが、大きな問題は起きていない。SNS等によるトラブルは数件あったため、生徒だけでなく教員の意識や知識の向上を図りたい。	B	SNS等のトラブルについては、なくなるよう引き続き注意をしていく必要があると感じる。 地域との交流については、コロナも落ち着いたので、パソコン講座などの専門的なことだけでなく、生活に密着した話合いや教養講座、静岡福祉大学とも関わって介護・福祉に特化した講座を通し、交流の場がもてたらよい。
	2. 地域に貢献する学校を目指すとともに、広報活動にて本校を広くアピールする。	①地域連携活動に積極的に参加し、ホームページに掲載する記事や写真を提供する。 ② (各自設定)	B	コロナの影響で学校開放の機会はあまり無かったが、地域住民を対象にしたパソコン講座を開講できたことは良かった。ホームページでは定期的に生徒の活躍する姿を提供することができた。	B	
6. 教育の質 の保証	1. 個々の教育スキルを向上させ、オールラウンドプレーヤーを目指す。	①プレゼンテーション能力の向上とインクルーシブ教育の研究をおこなう。 ② (各自設定)	B	全教員が教室に設置したプロジェクターを利用し、ほぼ全教科でiPadを活用した授業を展開している。インクルーシブ教育の研究については担当教員だけに留まってしまった。	B	iPadを使った授業やアプリでのコミュニケーションなどうまく活用でき、生徒一人一台のタブレットを活用する授業を深化させた全教員に敬意を表したい。
	2. 組織的な学校運営を実現する。	①報告・連絡・相談を徹底する。後輩教員への指導を積極的におこなう。	A	報告漏れが数件あったため、次年度も引き続き「徹底」を目指す。新任教員にはOJTを実施し、所属学年の主任による指導をおこなった。今年度も若手教員のスキルアップが感じられた。	A	令和5年度の入学予定者が増えた理由の中に総合選択制や高大連携が挙げられる。このような新1年生の期待を伸ばしていただきたい。
	3. 教育環境を整備する	①身の回りの整理整頓や清掃活動を日常におこなう。節電や紙の無駄遣いをしないなど経費節減に努力する。 ② (各自設定)	B	比較的ベテラン教員の机回りが乱雑である。後輩教員の手本となる取り組みをお願いしたい。節電や紙の無駄遣いについては、教員間では意識づけができていっているように感じている。	B	担当の教科のことだけでなく、進路指導や生徒指導、校務分掌、インクルーシブ教育、保護者との関わり、学校教育の変化と、対応することが多くあると思うが、相乗効果となることを期待している。よりよい学校づくりをしてほしい。
	4. 服務規律の徹底と社会人としてのマナーを向上させる。	①法令や教職員手引きを遵守する。電話対応や保護者対応などの接遇能力を向上させる。 ② (各自設定)	A	校内外において教職員(社会人)としてのルールやマナーを遵守することができた。交通事故や飲酒運転の報告もゼロであった。保護者対応は若手教員を中心に引き続き研鑽を積ませたい。	A	